

第5回 練馬光が丘病院運営連絡協議会

開催日 平成27年3月24日（水曜日）

時 間 15時～16時10分

場 所 地下1階大会議室

出席者 別紙A参照

内 容 次第参照

議 事

(1) 練馬光が丘病院の運営状況について

①利用状況、重点医療について

- ・南雲医事課長
資料1～6のとおり説明
- ・高瀬事務部次長
資料7のとおり説明
- ・貞盛練馬区地域医療課医療連携担当係長
資料8のとおり説明
- ・とや委員
救急車で搬送された患者のうち入院された割合は。
- ・光定副管理者
昨年4月から今年2月までの平均で36%となっている。
- ・とや委員
それ以外の方々は、入院されずにお帰りになったのと他医療機関へ転院になったということによろしいか。
それでは、他医療機関へ転院になった割合は。
- ・光定副管理者
当院での治療が困難な症例や、既に重篤な患者の治療中などの場合には他医療機関へ転院となるケースがあるが、1日1件あるかないか程度の件数である。
- ・とや委員
医師ひとり1ヶ月あたりの勤務日数は。
- ・藤来担当理事
常勤医師は週5日勤務となっており、当直に関しては週1回程度となっている。
- ・とや委員
23時から翌朝までの小児救急の患者数は。
- ・光定副管理者
時間外患者全体の2割程度である。
- ・とや委員
時間外の勤務体制について教えていただきたい。
- ・光定副管理者
医師については、内科系2名、外科系、産婦人科、小児科、救急科医師がそれぞれ1名の6名体制となっている。

・古賀委員

救急入院率が60%を超えているのに、病床利用率が低いと感じている。
これだけ低いと、ベースの患者数がかなり少ないのではと思っている。
経営的にも厳しいのではと心配しているが、どのように考えているのか。

・川上管理者兼病院長

開設時の経緯にて、準備期間が半年という短期であったことと東京都より日本大学と同規模にて開設という条件があった。

そのため、医師の採用については、経営的観点からの採用ではなくそちらを優先させたこともあり、人件費が膨大なものとなっている。

しかし、開設より3年が経過し、ようやく条件が緩和されてきたので、これから調整を行っていかうと考えている。

また、入院ベッドに関して、当院には小児科および産婦人科があるので、いわゆる一般病床では300床で満床状態となってしまうので、これらからも経営上 厳しいものとなっている。

経営状態は右肩上がりとなってきてはいるが、いままでの累積もあり、まだまだ努力をしていかなければならないと思っている。

・古賀委員

災害医療について、感染症への対応について教えていただきたい。

・光定副管理者

東京都の指導に基づき対応は行っている。また、訓練も行っている。

・白戸委員

平均在院日数について、眼科の入院も含んでのものなのか。

・南雲医事課長

眼科に関しては、今年度より平均在院日数から除外するというルールとなったので含んでいない。

・金重委員

紹介および逆紹介患者について、どのような医療機関からが多いのか。

・本池地域連携相談センター係長

紹介に関しては、近隣の開業医が主であり、逆紹介に関しては、紹介いただいた医療機関にお返しすることを基本としている。また、患者の利便性の良い医療機関へ逆紹介を行うこともある。

・高橋委員

光が丘病院で残念なことは形成外科がないことである。

作業現場での多くの怪我は形成外科系であるので、設備面などの事情もあるが、ぜひ形成外科を標榜していただきたい。

・川上管理者兼病院長

将来的にはそのような部門も必要であると思うので、努力はさせていただきます。

・新山委員

病床稼働率のデータがないが、稼働率について85%はあると思う。

これはかなり高い数字であると思うので、次回以降、資料に病床稼働率も追加していただきたい。

・川上管理者兼病院長

心掛けて対応させていただきます。

②地域活動

・本池地域連携相談センター係長

資料9のとおり説明

・金重委員

先般 講演の依頼をさせていただいたところ快諾いただきありがとうございます。

きらきらレターについて、配布地域を教えていただきたい。

・本池地域連携相談センター係長

練馬区内の医療機関、区外の連携医療機関などとなっている。

- ・小林委員

がん拠点病院にはならないのか。

- ・川上管理者兼病院長

様々な施設の要件があり、その中で唯一 不足していることとして放射線治療施設があり、現状では困難である。

(2) 練馬光が丘病院の建替えについて

- ・貞盛練馬区地域医療課医療連携担当係長

建物が老朽化していることから、最新の医療を実施していくことが困難となってきた。

様々な環境調査や住民説明会なども実施し、理解を得ている。

来年度からは基本構想の作成となるので、引き続きご理解ご協力をお願いしたい。

(3) 次回日程について

- ・川上管理者兼病院長

10月下旬を予定する。